

日曜参観

6月2日(日)は日曜参観でした。1・2校時は授業参観, 3・4校時はふれあい活動として親子でドッジボール大会を行いました。

当日は早朝からたくさん保護者の皆さんが来校され,子どもたちの様子を熱心に参観していらっしゃいました。日曜参観のため,普段に学校に来られないお父さん方の姿も目立ち,子どもたちも張り切って手を挙げ,発表していました。

親子ドッジボール大会は,親子のふれ合いと親睦を深めることが目的ですが,どちらも最初から本気モードで,子ども



写真

大人も大ハッスルでした。どの試合も楽しい雰囲気の中に熱戦が繰り広げられましたが,ケガもなく無事大会を終了し,親子一緒に気持ちのいい汗を流すことができました。

また,当日は通学路の点検を兼ねて,子どもと一緒に歩いて登校をお願いしましたところ,殆どの家庭が実施してくださいました。ご回答いただきました点検結果は,スクールゾーン委員会で活用したり,今後の安全指導に役立てたりしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。



写真

お茶とのふれあい事業

5月23日(木)は,お茶とのふれあい事業がありました。この事業は,日本茶インストラクター協会鹿児島県支部が,県内の小学校5・6年生を対象に実施しているもので,実際に急須と湯のみを使って,県内産のお茶を入れ,お菓子と一緒に味わう体験型学習です。

この日は,鹿児島県支部日本茶インストラクターの方がお二人来校されました。まず,お茶の甘みや渋みなどの成分や温度,時間との関係について詳しく説明があり,次においしいお茶の入れ方についての実技指導をしていただきました。

その後,子どもたちは自分たちでお茶を入れました。湯冷ましたお湯を急須についだり,茶さじで茶葉を入れたり,苦みや渋みを抑えて,うまみや甘みを引き出すお茶の入れ方にチャレンジしていました。



写真

最後に,インストラクターの末永さんから,「今日教わった入れ方をもとに,お父さんやお母さんにも,ぜひおいしいお茶を入れてあげてください。」と,子どもたち一人一人に急須セットがプレゼントされました。5・6年生にとって,全国でも有数の生産量を誇る鹿児島県のお茶についての理解を深めるいい機会になったことでしょう。



写真

6月20日(木),土橋校区スクールゾーン委員会が開催されました。この会は,スクールゾーン内の

子ども達の安全を確保するための対策について協議し,関係機関に要望を上げたり,交通安全運動の推進を図ったりすることを目的としています。土橋小・中学校の職員・PTA役員の他,警察や行政,地区公民館長,各自治会長等の皆様,約30名で構成されています。

今回は校区内の危険箇所や子どもたちの登下校の様子,登校時の交通事情等について話し合われ,以下のような意見や要望が出されました。

- ・ 登校時,スピードを出して通り抜ける車が多い。
- ・ スクールゾーン内を速度制限30km/hにできないか。
- ・ 学校前に「ゾーン30」を設置できないか。
- ・ 中川住宅前に早く横断歩道を設置してほしい。
- ・ 鹿児島電子に至る三叉路に一時停止の標識を設置できないか。

本校のスクールゾーンは,登校時の交通量が多いだけに,子どもの交通事故防止を最重点課題として,学校,保護者,地域住民,関係機関等が一体となった取組を推進していきたいものです。



土橋中学校職場体験学習

5月28日(火)~30日(木)

中学生が事業所などの職場で働くことを通じて,仕事の実際について体験したり,働く人々と接したりする職場体験学習がありました。本年度,幼稚園と小学校で体験したのは,土橋中の2名。

「働く」ことの尊さ,難しさ,人との関わり方等,この期間に学んだことをこれからの学校生活や将来の職業選択にぜひ役立ててほしいものです。

読書集会